グローバル・アート・プロフェッショナル育成プロジェクト

建築キュレーション・ワークショップ

－Anatomy of Architectural Curation－

参加者募集要項

1. ワークショップ概要

本ワークショップは、建築展にかかわる中堅・若手の建築家、キュレーター、研究者を対象に、4 日間にわたって実施する育成プログラムです。建築の展覧会を企画する上で必要な知識や理論について学び、国際的なネットワークとの結びつきを深めることで、建築キュレーション分野で国際的に活躍できる人材の育成を目的としています。そのため、世界的に活躍する建築キュレーターやディレクターを講師として国外から招き、レクチャーやディスカッション、講評を実施、また瀬戸内国際芸術祭や広島国際建築祭の視察を行い、建築（展）のキュレーションの可能性について問い直します。

テーマの「Anatomy of Architectural Curation」は、各自が普段の実践の中で行なっている建築キュレーションについて、改めて考察し、その基本的な構成要素とエッセンスを紐解き、それぞれを批判的に再検討したうえで、これまでの展覧会プロジェクトをより高度なキュラトリアルな実践へと発展させることを意図しています。

2. 開催日程・会場

- 実施日程: 2025 年 10 月 5 日（日）～8 日（水）＋ 9 日（木）
- 実施場所：東京、豊島（香川）＋ 福山・尾道（広島）

- **スケジュール（予定）**

	午前	午後
10/5（日） 東京	・キックオフミーティング	・国際シンポジウム （東京泊）
10/6（月） 豊島	→移動（瀬戸内へ）	・犬島（瀬戸内国際芸術祭）視察 ・グループディスカッション （豊島泊）
10/7（火） 豊島	・直島（瀬戸内国際芸術祭）視察	・ラウンドテーブル ・キュラトリアル演習 （豊島泊）
10/8（水） 豊島	・成果発表、講評 ・まとめ →移動（岡山泊）	
10/9（木） 福山・尾道	→移動（福山・尾道へ） ・福山（広島国際建築祭）視察	・尾道（広島国際建築祭）視察 →解散

※ 10 月 5 日は東京にてキックオフミーティング、ゲストキュレーターによる国際シンポジウムを開催。6 日の朝に飛行機にて香川へ移動します。
※ キュラトリアル演習では、自身が取り組んだ（もしくは取り組みたい）展覧会企画のアップデートを講師とともに検討します。
※ 10 月 9 日の広島国際建築祭へのエクスカーションは任意参加です。
※ 詳細な集合場所・集合時間は、参加者確定後にお知らせします。

3. WS 講師（海外招聘キュレーター）

本ワークショップでは、建築ミュージアムや美術館の建築部門のキュレーター、また国際的なビエンナーレや建築祭でのキュレーション経験がある方を 3 名、講師としてお招きします。

- **カーソン・チャン（前 MoMA エミリオ・アンバース建築･自然環境共同研究所初代ディレクターおよび建築デザイン部門キュレーター）**

Photo : Gregor Quack

建築キュレーターおよびライター。近年では、MoMA のエミリオ･アンバース建築･自然環境共同研究所の初代ディレクターおよび建築デザイン部門のキュレーターを務めた。MoMA では展覧会や講演、出版など多岐にわたる研究プログラムを企画・実施。2012 年には第 4 回マラケシュ・ビエンナーレ（ナディム・サンマンと共同）を、翌年にはデンバーのアメリカズ・ビエンナーレでエグゼクティブ・キュレーターを務めた。『Frieze』『Texte zur Kunst』『032c』などの書籍や雑誌にも定期的に寄稿している。

- **ジェニファー・フレッチャー（サンフランシスコ近代美術館（SFMOMA）建築・デザイン部門ヘレン・ヒルトン・ライザー・キュレーター兼部門長）**

ニューヨーク大学で美術史学士、バード・カレッジでキュラトリアル・スタディーズ修士、ハーバード大学で建築史・理論修士を取得。2007 年に SFMOMA 建築・デザイン部門アシスタントキュレーターとして着任、2013 年より現職。SFMOMA コレクション構築と連動し、ポストモダン以降の前衛的建築・グラフィック・プロダクトを網羅的に紹介する展覧会から、リサーチ＋没入型インスタレーション、グラフィック史・スポーツ文化・宇宙開発など多領域を横断し、デザイン領域を拡張する展覧会を展開してきた。

- **エカテリーナ・ゴロヴァチュク（GRACE，建築家／キュレーター）**

ロシア出身・ミラノ在住の建築家／キュレーター。ポリテクニコ・ディ・ミラノで建築学位取得後、OMA/AMO に長期在籍し、ガレージ現代美術館（モスクワ）の改修プロジェクトを統括。2016 年に建築・展覧会スタジオ GRACE を共同設立し、おもに中央アジアやロシアの近代遺産をめぐる調査・設計・展示を手がけ、ソ連・中央アジアのモダニズム建築を環境技術や社会史の文脈で捉え直してきた。2025 年ヴェネツィア建築ビエンナーレ・ウズベキスタン館、共同キュレーター。

※ 姓のアルファベット順
※上記以外に国内から建築や美術関係のキュレーターオブザーバーとして参加予定です。

4. 参加条件

- 募集人数：10 名
- 参加条件：
  - 建築・美術系の大学または大学院を卒業後、実務経験 3 年以上（博士後期課程在籍中の学生は可)、または同程度の実績を有する者
  - 建築や都市計画、まちづくり等に関する展覧会を 3 つ以上主催またはキュレーションした経験があること（うち 1 つは展覧会以外のメディア形式［オンライン展示・出版・映像作品など］でも可）
  - 国籍不問、ただし日本在住、もしくは日本を拠点に活動していること
  - 英語でのコミュニケーションが円滑に取れること（ワークショップ言語は英語）
  - 期間中の全てのプログラムに参加できること（任意参加の広島国際建築祭エクスカーションを除く）

5. 参加費・諸経費

- 参加費は無料です。
- プログラム期間中の交通費、宿泊費は主催者が負担します。
  - ※ 東京居住者：東京から瀬戸内、広島、東京への帰りの交通費、ならびに豊島、岡山の宿泊費。
  - ※ 東京以外の居住者：居住地から東京、東京から瀬戸内、広島、居住地への帰りの交通費、ならびに東京、豊島、岡山の宿泊費。
  - ※ 飛行機はエコノミークラス、新幹線は普通車利用。

6. 応募方法

- 以下の内容を所定の書式に記入し、事例紹介 PDF とともに以下のメールアドレスまで送付してください。

  E-mail: info@centrecoak.org（一般社団法人建築センターCoAK 、担当：藏薗）

  ＜記入項目＞
  - 応募者情報（氏名、所属、生年月日、住所、連絡先）
  - 志望動機およびワークショップで学びたいこと（400 文字程度）
  - 過去の展覧会・プロジェクト参画歴（タイトル、開催期間、主催団体・役割）
  - 事例紹介 PDF：自らが主催、企画、キュレーションした建築分野の展覧会の事例 3 点（うち 1 点は展覧会以外のメディア形式も可）を、各 A4、1 枚にまとめたもの。各事例につき、概要・写真・担当内容・成果や評価を記載すること）
    ※ ファイル形式：PDF（10MB 以内推奨）
    ※ PDF は英語を推奨

7. 応募締切

- 2025 年 7 月 14 日（月）

8. 選考方法

- 一次選考: 書類審査
- 二次選考: オンライン面談（必要に応じて実施）
- 選考結果は、メールにて応募者全員へお知らせいたします。

9. スケジュール（予定）

- 2025 年 6 月 26 日: 募集開始
- 2025 年 7 月 14 日: 応募締切
- 2025 年 7 月 20 日: 選考結果通知
- 2025 年 8 月上旬：参加者説明会（オンライン）
- 2025 年 10 月 5 日：シンポジウム（東京）
- 2025 年 10 月 6 - 8 日: ワークショップ（豊島）、瀬戸内国際芸術祭視察
- 2025 年 10 月 9 日：広島国際建築祭視察

10. 注意事項

- 応募いただいた際の個人情報は、本ワークショップに関連する業務以外に利用いたしません。ご記入いただいた個人情報は、森ビル株式会社のプライバシーポリシーにもとづき、運営事務局の一般社団法人建築センターCoAK が管理いたします。
- 天候や社会情勢等により、日程・会場等が変更となる場合があります。

主催者・問い合わせ先

- 主催：森美術館
- 助成：文化芸術活動基盤強化基金
  （独立行政法人日本芸術文化振興会）
- 運営：一般社団法人建築センターCoAK

Japan Creator Support Fund

【問い合わせ先】

一般社団法人建築センターCoAK 、担当：藏薗（くらぞの）

E-mail: info@centrecoak.org